

令和2年第16回（定例）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和2年7月21日午後7時

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、布施委員、神尾委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、矢野学校教育課長、
横山学校教育課主幹、北野教育総務課長、中野教育推進室生涯学習課長

本日の会議に付した事件

議案

- 1 社会教育関係団体登録申請について
- 2 高砂市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

協議事項

- 1 令和2年高砂市議会第4回臨時会提出議案に係る意見の聴取について
- 2 令和3年度事業計画について

報告事項

- 1 高砂市議会6月定例会の報告について
- 2 高砂市教育委員会事業後援・共催について

その他

- 1 8月行事予定について

議 事 議案 1 社会教育関係団体登録申請について

○事務局 (議案 1 について説明)

○教育長 説明は終わりました。何かご質問はございますか。連合 P T A につきましては、まだ組織が整っていないということで、会員数も空白になっていますが、整い次第またお諮りするということです。あとの 11 団体について何かご質問ありましたら。よろしいでしょうか。では、ご承認いただきましたので、連合 P T A につきましても、整いましたら直近の教育委員会に諮って、8 月 1 日付で教育団体に登録ということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。では、それをお願いします。

議 事 議案 2 高砂市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

○事務局 (議案 2 について説明)

○教育長 何かご質問等ございますか。

○委員 この表彰ですけれども、例年に比べて表彰者の数というのは、いかがなものでしょうか。

○事務局 昨年は 9 名でございました。30 年度は 13 名、29 年度は 17 名の方ですので、今年が特別というわけではございませんが、去年と比較しましたら多い受賞となっております。

○委員 今回の受賞者は、学力向上とか、教育や研究に関するところが例年に比べてかなり多いような気がして、私の印象は、長年勤続での表彰、もしくはクラブ活動でいい結果を出した人がほとんどというイメージがあったのですけれども、今回そういう特徴はあったのでしょうか。教育だとか研究だとか、そういう学力向上を含めての表彰が、かなりウエートが高くなっているような気がするのです。それは何か考え方とか方針が変わってきているのですか。

○事務局 特段この表彰の規定や基準については変わっているものではございません。ただ、できるだけ長期勤続というところではなく、その先生方が今までご指導された内容であるとか、専科の先生でしたら教科でどのようなことをされたかということに焦点を当てて、その辺りでご推薦いただきたいということでは、各学校の校長先生方にはお願いをしておりました。

○委員 大会に出て結果を出したからという評価のしやすいところでの推薦というのが多かったというのが私の印象だったのですけれども、最近は学力向上を含めて、何とか子供たちの学力を上げようという取組を、実際に教育委員会も含めて、何年間も長きにわたって進めてきているので、そういう気持ちが全体的に

広がってきているのではなからうか。それは非常に喜ばしいことだと思うので、今後もこういうような形にしてもらいたいなと思っています。

○教育長 ありがとうございます。広く教育に貢献していただいたという意味では、教科もありますし、そのほかの養護教育とか、いろんな形で貢献していただいた方ということで、教育総務課もこういった視点でということで校長先生に改めてお願いしたところ、こういうメンバーになったということです。

○委員 ぜひともこういう形で、評価しやすいからといって、安易な感じではなくて、ほんとう広く考えてもらった評価というのをこれからもぜひ進めてください。お願いいたします。

○委員 第2条のほかの項目についての適用項目、いっぱいあるのですが、なかなかそこに入ってこないというのがあります。この制度をつくったときには、若手の先生方を励ますため、ステップアップするための1つの励みになっていただいたらということで始めたと思います。選ぶ項目としてもいろいろな項目があってもいいのですが、なかなかそれに当てはまらなくて。一番は勤続年数があって、そうすると高齢の方が来るかなと思う。学力向上のことも、実際には学校経営のことがメインであって、学力向上は具体的にはなかなか見えません。ほかの項目も検討していただきたいなということがあるので、表彰項目の中に、いろいろな善行をしたとか、地域に対して貢献をしたとか、そういう項目があったらできるだけ選んでいただきたい。日常の中でのボランティア的なもの、善行的なもの、そういうのもあっていいのではないかという気がしますが、なかなかそれに当てはまってこない。多岐にわたって項目が選ばれるという、個性のある先生方が表彰できるような形になってほしいというのが希望です。

○委員 例年、この表彰で部活動に関して対象として出てくるのですけれども、部活動か学習指導、二者択一ではなくて両方のバランスだと思うのです。今回は中身を見ると、学習指導のほうに重きを置いて、校長とか教育委員会の指導があったというよりも、偶然の結果でないかと思います。多岐にわたったところを見て、いろんな場面で輝いている先生方をピックアップする。そういう部分で、やっぱり部活動もある程度、今までと同じような形で焦点を当てていく、それ以外にも焦点を当てる表彰推薦という形がいいのかなと思います。

○委員 いろいろな中学校から上がっていることも、すごくうれしいことだと思います。いままで中学校は少なかったと思うので。また、コミュニティスクールに向けてイメージを持ちながら、そういう方向に向けていきましょうということと、オンライン授業などIT機器を使っての授業に向けてということと、表彰の内容についてあまり書かれていないのだなと思いました。特に高砂地区に関しては、そういう方が出てくるかなと思ったのですけれども、挙がっていません。そういう事を大きな柱として捉えてくださっているのかなというのに少し

不安を感じたところでは。

○委員 教育委員会の方針として、コミュニティスクールを立ち上げようという形の、それに沿った形に動いている方を表彰するという形というのは、ちょっとおかしいと思うのです。この表彰そのものの趣旨として、コミュニティスクールを立ち上げるといふ形のものはないし、それに従った形の分を、賛同して動いてくれた形の表彰をするというような形での、進めてほしいという形で今取れたのですが、それであつたら、ちょっと誤解を招くと思います。教育の在り方の問題としては、色々なバリエーションがあつて、多岐にわたっているような形を表彰する。高砂市の教育大綱、それにのっとりいこうというのを当然守らなければいけないものとして最低限のものはありますけど、それに従った形で、流れに乗っていったという形でいくことではなくて、これは日常の中での先生自身一人一人の教師としての本分を上げながら、なおかつ非常に評価できる行為があつたというものに関する表彰だと思います。流れに沿って教育委員会としての方針というコミュニティスクールというのは、僕はまだ教育委員会としては、それに突き進むという結論には達していないということもあるので、そう言われると、ちょっと誤解を招くのではないかなと思います。

○委員 すいません。言葉を言い直します。コミュニティスクールという言葉をはっきり出してしまったので、誤解を招いたかもしれませんが、子供たちも、もっと地域と密接に関わりながら育っていかなければいけない時代だと思うのです。表彰項目としても、社会教育や公民館活動、それから天災地変に際して「協力一致」というような項目も入れてくださっていると思いますので、そういう形でのつながりをつくっていくような活動というのが、長い意味でそちらに向かつていくのかなと思つての発言でした。

○教育長 教育委員会としましては、今ご意見がたくさん出た中で、学力に力は入れています。それから、地域とともにある学校でということも求められている課題だと思いますし、今年の場合でしたらICTの機器の導入もありましたし、特別支援教育についても課題が大きく出されています。そういった高砂市の独自の課題について尽力されたという視点は、校長先生としては持っていただきたいというのが教育委員会としてもあります。そんな中で、その課題に向けて頑張っている先生が、どんな方がおられるのか。この人はこういうことでよくやってきたのだという意味で多岐にわたるといふ受け止め方をしたいと思います。それと、表彰が導入された時点では、中堅、若手も含めて、これからの励みになるような形ということも、十分に校長先生方に理解していただいて表彰の推薦をいただいています。中堅の先生がちょっと少ないようなこともありますので、30代、また40代の先生方にも目を向けていただいて、頑張っている先生には、これからもよろしくという意味で推薦していただくような形で校長先生方にも再度伝えていきたいと思つています。今日、ご意見いただいたご意見も校長先

生方に伝えて、来年度、ほんとうに多岐にわたって、また若い先生方、高砂市の課題の解決に向けて頑張っていたでいる先生、そういう視点も持っていたでいて推薦していただくように努めてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。16名のこの方の表彰につきましては、今日、ご承認いただきましてら27日に表彰式を行いたでと考えていますので、よろしくお願ひいたします。では、この議案の2つ目につきまして、16名の先生をご承認ということではよろしくお願ひいたします。

議 事 協議事項1 令和2年度高砂市議会第4回臨時会提出議案に係る意見の聴取について

- 事務局 (協議事項1について説明)
- 教育長 説明は終わりました。第4回の臨時会の提出議案の中での契約議案が2つと、それから予算議案1つですけど、まず動産の買入れ、契約議案について何かご質問はございますか。
- 委員 タブレットが全LTEモデルになったということで、無線LANを設置しないということですか。
- 事務局 各学校の無線LANについては、今回は設置しないということにはなっております。
- 委員 通常だったら無線LANをつけていきますよね。それで無線LANを通して、色々なものを動かしますよね。今回それは無いという事ですか。
- 事務局 はい。
- 委員 タブレット以外の機器も大概無線LANにつながりながら動作させると思ひます。そういうことは考えてのことですな。
- 事務局 もともとの予定では、タブレットもWi-Fi対応であれば、各教室に無線のアクセスポイントを設置するということになっていました。ところが、LTEモデルになったというところでアクセスポイントは設置しないということに変更されています。転送装置を設置することで、タブレットとそれぞれの装置については無線でつながるということになります。
- 委員 転送装置というのはLANみたいなものなのですか。
- 事務局 これはLANではございません。タブレットと電子黒板をつなぐための機械です。これがタブレットとレシーバーと通信してモニターに映すというものでございます。
- 委員 それは単純に電子黒板単独でしか使えないようなものなのですか。
- 事務局 そうです。電子黒板と端末をつなぐための機械です。
- 委員 何か応用がどうも利かないのではないかと思ひて。無線LANを使って、色々な機器を動作させるというのがあると思ひのだけれども、そういうのって使う

予定はないということですか。

- 事務局 無線LANはございません。LTEでも使用可能と考えています。
- 委員 画面転送装置の件ですが、この業者に決まったという何か決め手はあったのですか。
- 事務局 これは入札ですので、金額で決定というところがございます。
- 委員 実績的には問題ないのですか、業者さんについては。
- 事務局 はい。問題ございません。
- 事務局 補足します。20者を選んでいるのですけれども、選ぶときに、そういったところを加味して選んでいます。
- 教育長 ほかに何か契約議案のことで質問がありましたら。よろしいですか。
では次に予算ついてなにかございますか。
- 委員 パーテーションというのは、どういう形で使うかがイメージできていないのですが、どう使う予定ですか。
- 事務局 考えていますのは、子供たち一人一人が使うパーテーションということで、カラーのものはございません。子供たちの机、一人一人に前も横も囲う形で考えています。
- 委員 箱に入れてしまうような感じなのですね。
- 事務局 はい。主に給食の時間に使って、その時間子供たち一人一人を守るという、まずそれが1つ。また、特別教室で先生方が作ってくださっているものもありますのですけれども、まだ全ての特別教室には行き渡っていませんので、特別教室用が1つ。そして、職員室で先生方もいろいろ話をしなければならない中、机は向かい合わせにしております。そこで、教師との仕切りということで1つ、この3つを考えています。
- 委員 給食のときという話ですけど、授業では外しているのですか。
- 事務局 そうですね。比較的薄いので、畳んで児童生徒の机の横にぶら下げることができます。使わないときは各自が持つておけるということになっています。
- 委員 学校の教室の中での授業をやるときに、パーテーションの設置は義務なのですか。前から言っているように、怖がるときは正しくきちんと怖がって、きちんと対応しなくてはいけません、無意味なことはやらなくていいと思います。パーテーションは効果があると思いますか。お金をかけてまでしなくてはならないことなのかどうかということ。医療機関では受付のところにパーテーションをつけなさいと言われていました。それをつけなかったら、濃厚感染者として熱が出ている人たちを診断したときには、それなりの設備をしていないと病院としてみなさないと言われていまして設置しています。けれども、学校は教室の中でそれをして、授業があったら外して横に置いて、一緒に遊ぶときは一緒に遊んで、給食のときだけ立てます。それで本当に効果があるのか考えるのは難しいと思います。

- 委員 取り外して、横に置いて使っていくとのことですが、管理はどう考えていますか。先生が、または本人が消毒等をするのですか。
- 事務局 子供たち一人一人にも拭く作業というのはさせていくということが必要になると思います。
- 委員 何で消毒しますか。
- 事務局 現在使っております次亜塩素酸水やアルコールで消毒をしていくしかないと思っています。
- 事務局 次亜塩素酸水の効果というのは、通産省が一定以上のppm濃度以上なら、ウイルスに対する効果があるであろうという結論を出しました。ただ、濃くすると、色々な変性を来す可能性があります。アクリル板も変性するし色が変わってきます。こういう場合、次亜塩素酸水を使うよりも水で洗って拭く、それだけでいいのではないかなと思います。また違う話で、クラスで保健衛生係があって、みんなの前に立ってアルコール消毒の仕方をデモンストレーションするというのがあるのです。ある学校で、その係の子にアルコールアレルギーがあって、かぶれて手ががさがさでした。「外してもらいなさい」と言ったら、「言いにくい」といいます。そういうのもやっぱりコロナ禍の中では細かく見てあげないといけないと思う。目配りが足りないなと思うので、ちょっと学校にも注意して促してほしいなと思うのです。
- 教育長 消毒することも大事だけれども、子供に対する目配り、貴重なご意見をいただきましたので、学校のほうにも情報提供していきたいと思います。ほかに何かございますでしょうか。
- 委員 今、「GoToキャンペーン」でキャンセル料の話がでていますが、高砂市内の修学旅行のキャンセル料に関してはどういう考え方をされているのですか。小学校、中学校にせよ、修学旅行を中止する場合、今の状態だったらキャンセル料を取られるということになると思います。それを市で支払うのか、保護者に払ってもらうのか。支払うのが非常に厳しい家庭もあると思いますので、この補正予算で通すことができますか。
- 事務局 正式にはまだ市の財政には言っていないのですが、頭出しという形で、先日相談させていただきました。国の補助があるので大丈夫というような回答は得ています。ただ、すぐ予算化することではなくて、いざというときに対応できるように、小学校、中学校どちらも担当の校長に連絡を入れまして、団体でどのくらいの金額になるのかまとめて頂いております。それ以外にも、キャンセルしないにしても、企画内容が変わると企画料というのが発生すると聞いています。それについても調べてくださいということで、企画料の場合だと幾らかかりますと出してもらっています。金額がそろったらもう一度財政に相談させていただこうと思っています。
- 委員 財政的に大変だというのは分かりますが、今までのコロナ関係で色々と補助が

出ていますので、そこも配慮してあげて欲しいと思います。そういう方針をちょっとお聞きしたかったのです。

- 教育長 キャンセル料が発生した場につきましては、文科省のほうも補助があるのかとか、また、金額的なことも含めて十分に調査をして、基本的には保護者の負担ではなくて、市のほうでという考え方を持っていますので、ご理解いただきたいと思います。

議 事 協議事項 2 令和3年度事業計画について

- 事務局 (協議事項2について説明)
- 教育長 何かご意見はございますか。
- 委員 エアコンなのですが、今一般教室についているのを特別教室、体育館、難しいかもしれませんが、そちらのほうというのは、どうなっているのでしょうか。
- 教育長 ここにないということですか。
- 委員 どれになるのか分からないので。挙げていないのかもしれないですが、もしないのなら、当分つけられないとお考えですか。
- 教育長 休憩中にも、これの事業計画の短期的な部分以外のことについても、いろいろご意見いただきました。エアコンにしても、中期的な計画には挙げているけれども、改めて委員の皆さんのご意見を聴かせていただいて、そういう安易に中期というのではなくて、少しでも意識を市として持ってもらうためにも、教育委員会としても、そういった課題ということを、どこかに置いておかず、意識をして常という形でアピールはしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。今ご意見いただいたことを踏まえて、市長のヒアリングに臨みたいと思います。

議 事 報告事項 1 高砂市議会6月定例会の報告について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 説明が終わりました。何かご質問はございますか。
- 委員 ICT関係がかなり多いということで、第2波が来た場合に、その備えということで、ハード関係は今準備しているところという部分は分かるのですが、ソフトの面で先に準備を進めていかないと、いざハードが入った後では使えないと思うのですね。校側はもう既にその準備は終わっているのでしょうか。どこまで進んでいるのでしょうか。
- 事務局 今、ソフトウェアについては、家庭でも使えるようなというソフト導入を進めているところでは。

- 委員 ソフトは何を使うのですか。
- 事務局 ミライシードという、ベネッセのソフトです。家庭でも使えるようになっております。その導入は進んでいるところです。機械、ソフトを調達しているところで、その上で先生方の研修はこれから進めていくところです。また、グーグルクロームブックが入っていきますので、それは家庭でも通信ができますので、そんなことの研修も今後していこうという準備をしているところです。
- 委員 もう今、2波ではないかと思うような状態にきています。また休校というような感じになった場合には、これからということでは遅過ぎます。簡易的に子供たちと遠隔で双方向での連絡をし合うということが、簡単なソフトですることができますよね。それぐらいだけでも先に先生方で準備したらいいと思います。
- 事務局 それであれば、ウェブカメラを導入しています。また、今後、校長会等をウェブですることは進めています。
- 委員 もう既にできるような状態ですか。
- 事務局 進めているところです。
- 委員 私も適当なソフトを使用してテストをしました。すごく簡単に、40人、50人ぐらいなら、一斉に配信できることが確認できました。先生たちで一斉に配信できるような、各先生から各クラスの子供たちに連絡を取り合われるぐらいのレベルまで、すぐいけるのではないかと思います。教育用ソフトを入れてから、「教育研修をやります」の前に、まずは朝の朝礼みたいな形で、みんなを集めて「どうしている？」というコミュニケーションを、簡単にできると思いますので、その準備を先にしたらいいのではないかと思います。
- 事務局 今後検討していきたいと思います。
- 教育長 たくさんご意見、今のICT機器についての環境の問題、または、いろんな形での第2波が来たときの対応についてご意見いただきましたけど、改めてこういったこともご意見いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議 事 報告事項2 高砂市教育委員会事業後援・共催について

- 事務局 (報告事項2について説明)

議 事 その他1 8月行事予定について

- 事務局 (その他1について説明)
- 教育長 何かご質問はございますか。
- 委員 表彰式は教育委員会終了後に行うのですか。
- 教育長 教育委員会終了後ということで、前もって表彰を受けられる先生方には時間を連絡していますのでよろしくお願いいたします。

令和2年7月21日 午後9時02分 教育長会議の閉会を宣告
